

小学校 4～6年

総合 | 地域の安全マップをつくろう

PC

電子黒板

児童生徒発表型

始

PC教材

終

栃木県佐野市立界小学校
立川 公重

実践テーマ

通学路や地域に潜む、事故や犯罪が起こりやすい危険な場所を児童が自ら見つけ出し、地図サービス上
に書き込んだり、画像をリンクさせたりして作成した地域安全マップを電子黒板で提示し、同じ地域に
住む下級生に説明する活動を通して、能動的に事故や犯罪から身を守る能力を養う。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 フィールドワークで調べてきたエリアについて、下級生（4年生）にも分かるように、地図サービスの衛星画像を電
子黒板で提示し、主な建物や施設、通学路を示して確認を行う。（地理的な位置関係を把握させる）
- 〈展開〉 自作の地域安全マップを電子黒板で提示し、危険な場所や安全な場所の位置理由・対応方法の説明をする。その際、
それらの地点にリンクさせた画像を表示したり、ペンで書き込みを行ったりして分かりやすく説明をする。（危険箇
所の共通理解を図る）
- 〈まとめ〉 ポイントとなる危険な場所については、再度、アップ画像を提示して、危険な理由の理解を図り対応方法の確認をす
る。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・自分たちの住んでいる地域の衛星画像で、説明するエリアを概観す る（PC教材）。	●地域の衛星画像 使用するソフトウェア： Google Earth™ (Google Inc.)
展開	・自作の地域安全マップを使って、「入りやすく」「見えにくい」をキ ーワードに、フィールドワークによって調べたことを発表する（PC 教材）。	●自作PC教材 (地域安全マップ)
まとめ	・自作の地域安全マップを使って、危険な場所の理由について質疑応 答をする中で、対応方法の確認をする（PC教材）。 ・「説明を聞いて」「説明をして」感じたことを発表する。	●地域安全マップ



地域の衛星画像を提示して、主
な建物・施設・通学路等を確認



自作の地域安全マップを使って、危険な
場所等、ペンで書き込みをしながら説明



危険な場所については再度アップ画像
を提示し、その理由の質疑応答を行う

児童の反応・効果

- ・電子黒板での衛星画像や撮影画像の提示によって、集中して説明を聞くことができ、画像への書き込みによって、理解が深ま
った。
- ・普段何気なく遊んでいる場所や通っている通学路にも危険が潜んでいることに気付き、気を付けなければならないという意識
が高まった。

活用のポイント

- ・地図サービスの基本的な操作や、地域安全マップの編集・説明を担当する児童への事前指導を校内のコンピュータ室で行って
おく必要がある。